



NEWS

2019年4月20日(土)に、「第3回濃尾地域包括ケアセミナー」を開催しました。

今回で第3回となる「濃尾地域包括ケアセミナー」を開催しました。当日は、当院の病院長松波和寿による濃尾地域包括ケア研究会の1年間の活動実績の報告、外部講演として栃木県にある野木病院の加藤士郎副院長による講演を行いました。そのほか「診療の現場から」として、当院の病院長代理・血液内科医師の鶴見寿から、治療内容の発表や診療実績の報告などを行いました。



社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 病院長
松波 和寿

▶濃尾地域包括ケア研究会のこの1年

当法人は、1902年に私の曾祖父である、松波巖太郎が岐阜市加納で松波病院を開院して以来、祖父の松波賢吾、父であり現在名誉院長を務める松波英一、そして兄であり現在理事長を務める松波英寿と、親子4代117年にわたり、医療・介護・福祉を提供し続けています。今後も、地域に必要な最先端の医療を提供し続けるために、現在EXT(エクステンション)棟と立体駐車場の建設工事を進めています。EXT棟は、ICUや内視鏡のスペース拡大、歯科口腔外科の診療スペース拡大を予定しています。また、以前から駐車場が手狭で、当院を利用される皆さまにご迷惑をおかけしており、今回の診療スペースの確保と同時に立体駐車場の建設に至りました。

当院の連携医は年々増加しており、当院が所在する羽島郡笠松町をはじめ、岐南町、岐阜市、各務原市、羽島市、愛知県一宮市木曾川町など300を超えています。この1年間で、新たに5つの医療機関が当院と連携をしてくださりました。

2019年度は、総勢21名の常勤医師が入职しました。そのうち部長職以上は、草深裕光副院長兼FMDセンター長、杉原潤一顧問兼消化器病センター長、木村真樹消化器外科部長の3名です。特に、木村医師は日本内視鏡外科学会の胃の技術認定医を取得しており、当院の消化器外科には、これまでに大腸とヘルニアの内視鏡技術認定医が在籍していましたが、今回の胃の領域により、3領域の内視鏡技術認定医が在籍することになります。3領域の内視鏡技術認定医が在籍する医療機関は、岐阜県内にはおそらく存在しないですし、国内でも珍しいと思います。今後は、これまで以上に内視鏡外科手術に注力していきたいと考えています。また、21名の医師のうち、今年度の研修医は総勢10名です。これからの岐阜の地域医療を支えてくれる貴重な人材です。

令和の時代になりましても、引き続き当院をよろしくお願いたします。

Matsunami Information

NEWS

日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会で、表彰を受けました。

2019年4月27日(土)に「日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会 第14回セミナー」が開催されました。当院から4題の演題発表を行い、下記の表彰を受けました。

- 最優秀ベストプラクティス賞：河邊 京子、倉田 郁恵
 演題「薬剤調製作業改善の取り組みと今後の課題」
- ベストプラクティス賞：黒田 恵利加、田口 愛弓
 演題「気管切開患者の開放式吸引」
- 奨励賞：加納 美津子、村田 唯
 演題「気道分泌物の吸引(開放式)」
- 奨励賞：佐藤 美知子
 演題「内視鏡室の環境整備」



特に、最優秀ベストプラクティス賞を受賞した河邊は、病棟クラーク(事務職)で、看護師以外で最優秀賞を受賞するのは快挙とされており。

今後も、医療従事者として感染管理への意識を高め、日常の診療行為に役立てていきたいと思っております。



講演会・セミナーのお知らせ

桐の響を楽しむ会によるコンサート

日時 2019年6月6日(木) 14時00分～
 場所 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館 1階 エントランスホール
 演者 桐の響を楽しむ会



MUKESUKE in MATSUNAMI (ピアノ・チェロコンサート)

日時 2019年6月22日(土) 14時00分～
 場所 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館 1階 エントランスホール
 演者 向田成人(ピアノ)、清水陽介(チェロ)



松ゼミ (松波ナースィングスキルアップセミナー)

医療職の方なら、どなたでも参加できます
 テーマ 慢性呼吸器疾患患者への看護～呼吸困難へのアプローチ～
 日時 2019年6月20日(木) 17時30分～
 場所 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館 1階 MGHホール
 講師 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 佐藤 めぐみ
 共催 羽島郡在宅医療サポートセンター



がん患者・家族のつどい 2019年度年間計画

月	テーマ	講師
5月	メイクアップについて	外部講師
7月	チューブ体操	理学療法士
9月	フットケア	外部講師
11月	アロママッサージ	外部講師
1月	がんのお話	消化器内科 第二消化器内科部長 伊藤 康文
3月	栄養のお話	管理栄養士

次回開催 2019年7月23日(火) 14時00分～
 場所 社会医療法人蘇西厚生会 まつなみ健康増進クリニック 1階 化学療法室ラウンジ
 お問い合わせ **058-388-0111(代)**
 がん化学療法看護認定看護師 野々垣まで

駐車場のご案内

患者さん用立体駐車場の建設工事に伴い、**P5駐車場全面、P7・P8駐車場一部が使用不可**となっております。ご利用の際には、ご注意ください。ご了承ください。よろしくお願いたします。



ARアプリ COCOAR2導入しました!!

アプリを起動し、「月刊まつなみ」の表紙でお試ください!!

ダウンロード・詳しい使い方はこちらから! (リンク先は病院HPです)

岐阜長良川トレーニングサイトからのお知らせ

AHA公認コース・日本ACLS協会「岐阜長良川トレーニングサイト」では、小児・乳児のBLS(一次救命処置)や気道異物の対処法も学べます。また、心停止前の対応・蘇生後治療も、ACLS(二次救命処置)で学ぶことができます。医療職に限らず、一般の方でも受講可能です。下記のQRコードからご希望の受講コース・日時をお選びください。なお、下記の各コース・日時は、参加者募集中です。特にACLSコースは、すぐに定員に達しますので、お申し込みはお早めに!

日時	BLS コース	ACLS コース
6月23日(日)	※募集締切:6月17日(月)	7月20日(土)・21日(日)
7月28日(日)	※募集締切:7月22日(月)	※募集締切:7月14日(日)

会場 岐阜大学医学部
 申込先 日本ACLS協会から「岐阜長良川トレーニングサイト」を選択
 お問い合わせ gifunagaragawats@yahoo.co.jp (AHA岐阜長良川トレーニングサイト事務局)

社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

〒501-6062
 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1
 TEL 058-388-0111(代)
 FAX 058-388-4711
<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>



濃尾地域包括ケアセミナー講演内容

講演

地域包括ケアシステムにおける漢方の効果的活用



筑波大学附属病院 臨床教授
医療法人社団友志会 野木病院 副院長
加藤 士郎 先生

漢方とは、漢方薬をはじめとする鍼灸や食養生などを含んだ医学のことを指します。中国の医学をベースに、日本の風土に合わせて独自の発展・進化したものです。

●高齢者の生活と健康寿命

昨今の高齢者の健康状態において、加齢による日常生活への支障が顕著に現れるのは75歳以上だと考えられています。年齢を重ねても、健康で安定した生活を送ることができる指数となる「健康寿命」を延ばすためには、75歳以後の健康管理が特に重要となります。

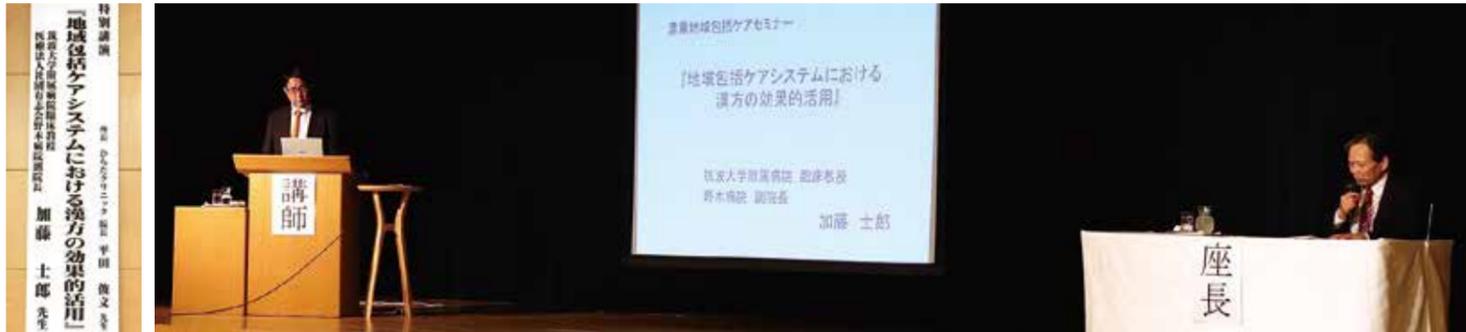
健康寿命を延ばす3大要因として、①食事生活、②運動療法、③社会生活が挙げられます。食事生活では、高血圧や糖尿病、喫煙等によって引き起こされる生活習慣病に気をつけながら、バランスの良い食事を1日3食摂ることが重要です。運動生活では、「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」に注意し、日常的に軽い運動を行うことが大切です。社会生活では、趣味を広く持ち、人生に目標を持ちながら生活を送ることなどが健康長寿への一歩となります。

●高齢者診療と漢方

「漢方医学」には大きく4つの養生方法があります。食事による「養生食」、太極拳といった「運動療法」、神経のツボを刺激する「鍼灸」、そして「漢方薬」を用いた養生方法で、免疫の向上や自律神経のバランスを高めることができます。つまり、身体を温めることや気力・食欲を高めることを促進し、体調の改善を図ることにより症状の治療につなげます。西洋医学では十分に説明できない症状がある場合は、漢方医学と併用治療をおこなうこともあります。

漢方医学の実例として、漢方薬を内服することで風邪予防をはじめに、インフルエンザや市中肺炎の予防にも有効となった例、補中益気湯と呼ばれる漢方薬の内服で、食欲不振や体温の改善につながり嚔下性肺炎の予防に有効となる例がありました。

この講演で、日常から体の調子を整えることが一番、病気の予防に直結し、健康な生活を送るためのポイントだと改めて学ぶことができました。



漢方医学における4つの養生方法



4つの養生方法を併用すると有効性が強化される。

漢方薬の効果について

- 心身一如と言って心と体に同時に作用することで体の恒常性を維持する効果がある。
西洋医学的には中枢神経(脳)と自律神経に作用する。
・中枢神経(脳)
・自律神経(交感神経、副交感神経)
1) 内臓機能全般
2) 免疫とアレルギー
3) ホルモン(内分泌)
1) 2) 3) の理由から1つの漢方薬で多臓器に効果が認められる。
- 抗加齢作用(加齢現象に影響する)
・男性は8の倍数で体が変化する。
・女性は7の倍数で体が変化する。
・40歳以上が初老となる。

漢方薬は臨床症状によって多様に使い分けが可能である

診察結果	漢方薬
起こっている症状で、更に早期の自内痔であれば	八味地黄丸
高齢者の基礎病性、気力低下、食欲不振のみならず、かぜを引きやすい、夏には夏バテ予防など	補中益気湯
咳嗽のみならず、高齢者に多いドライマウス、ドライアイ、夏には高血圧の軽症症状に	支門を湯
食欲不振や胃腸の不穏な症状のみならず、冷え症状やうつ傾向など	六君子湯

西洋医学的治療+漢方薬のメリット

- 西洋+漢方 診療のメリット
- 上記の例から考えると、運動療法などはともかく、このように西洋医学と漢方医学の知識を併せた診療を受けると、患者側からみると下記のようなメリットがある。
- 1) ... 薬つもの診療にかかる必要性がなくなる可能性がある。
 - 2) ... 薬つもの内服薬を飲む必要性がなくなる可能性がある。
 - 3) ... 医療費が削減される可能性がある。
 - 4) ... 西洋医学には無い日常生活の悩みの受け手が出来るようになり、冷えやしびれなどの西洋医学では苦手な臨床症状にも対応してもらえるようになる。

講演

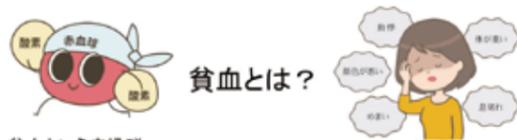
診療の現場から～貧血の捉え方～



社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 病院長代理
鶴見 寿

貧血は、赤血球の色素が不足することによる症候群であり、動悸、息切れ、疲れやすいなどの症状を呈します。赤血球の産生低下や消費亢進(出血など)によって生じます。赤血球産生低下は、造血に必要な材料(鉄、ビタミンB12など)の不足によるものが多いですが、白血病や骨髄異形成症候群などの造血器(骨髄)そのものの異常や、造血系に悪影響を与える慢性炎症などによるものもあります。鉄欠乏性貧血は鉄剤を補えば良いと考えるかもしれませんが、貧血の原因の追究が何よりも大切です。胃がんなどが潜んでいるかもしれない。一方、実際には鉄欠乏状態ではないのに鉄剤を注射で投与すると、ときに鉄過剰を招き、さまざまな臓器機能障害を招きます。また、高齢化時代を迎え、造血幹細胞の異常による骨髄異形成症候群という疾患が増加しています。貧血のみならず白血球減少や血小板減少も生じる疾患であり、見逃さないように注意したいところです。

松波総合病院血液内科では、貧血の診断・治療も担当させていただいており、日常診療で原因がはっきりしない貧血に遭遇した際には、ぜひお気軽にご相談ください。



貧血とは?

貧血という症候群
色素の不足: WHOは、男 13g/dl、女 12g/dl 未満と定義。
高齢者(70歳以上)では、男 11g/dl、女 10.5g/dl 未満。

多くの疾患の症状の1つとしての貧血(二次性貧血)
外傷や消化管出血、過多月経、炎症、腎不全による貧血など

造血器疾患そのものの症状
骨髄異形成症候群、再生不良性貧血、白血病、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫、など

なぜ貧血になるか?



新入職員懇親会



去る4月20日(土)18時30分より、グランヴェール岐山において法人新入職員61名による懇親会が行われました。

今回で8回目となる催しで、法人の新入職員が一堂に会し、立食やビンゴで盛り上がり、自由に楽しく情報交換などを行ってもらおうという主旨で「まつなみ親睦会」が主催してきました。

全員各部署での業務が始まり、なかなか皆で揃うことはなくなりますが、いつまでも職種を超えた同期として、今後も気軽に情報交換・ストレス発散など交流をされ、社会人としても成長し、地域住民の皆さんに信頼される医療・介護を提供できる人材になるよう、見守っていききたいと思います。



新入職員のこと

学生時代からの夢であった職に就き、晴れて松波総合病院で働けることをとても嬉しく思います。入社当初は右も左もわからず不安でいっぱいでしたが、的確な指導・サポートをしてくださる先輩方のおかげで少しずつ業務にも慣れてきました。私もいち早く一人前の医療人となり患者さんに安全で質の高い医療・福祉を提供できるようになりたいです。まだ初めての経験も多く、失敗することもあると思いますが、同期と励まし合いながら成長していきたいです。